



【ベニバナインゲン（花マメ）】 ※原産地：メキシコ高原

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
播種					○							
収穫										○		

■播き時と定植

- 800～1200mの高冷地（群馬県、長野県）か高緯度の地域（北海道）で栽培されている。
- 遅霜の恐れがなくなる5月中旬から下旬にかけて播種する。
- 苦土石灰、市販の有機肥料（鶏糞）、野菜の肥料を使う。
- 大粒で厚みがありマメの横径2.8cm以上の種子を使用する。
- 播種は1カ所に1粒、深さ2～3cmでヘソを下にする。
- 株間60cm、畝間80cm、芽が出たらすぐに支柱用の竹をさす。

■育て方のコツ

- 連作をしない。連作をすると土壤病害（フザリウム菌など）が発生し減収する。
- 堆肥投入で作られるインゲンは皮がやわらかく早く煮ることができる。
- 交差して立て上で結んだ竹の支柱は強風で倒れるので畝の両端に単管を立て、農業用のビニール等をはり、竹の支柱を固定する。
- 収穫前に「つる切り」をする。初霜時期（10月上旬？）の前後に、つるを切り、若莢（わかざや）の乾燥を促進させる。
- 収穫は黄変した莢から順次収穫し、莢ごと十分に乾燥させる。
- 主な病害虫には炭そ病、菌核病、タネバエ、アブラムシ、マメホソクチゾウムシがある。

■料理のポイント

❖その他

- 変種に少し小粒のシロバナインゲンがある。